

下水道事業の企業会計化普及促進による地方創生（兵庫県姫路市）

取組概要

- ・下水道事業特別会計の消費税の納税額が平成32年度まで、年々漸増し経営を圧迫していく仕組みになっていることを全国の下水道事業の経営を担当する職員に紹介
- ・地方公営企業法を適用して企業会計に移行するとその悪循環から解放されること、財政力の弱い地方の団体ほど納税額の削減効果が高いことを周知
- ・会計の仕組みや財務会計システムの起票パターンから小規模団体ほど取組みやすいことを解説

人口 532,605 人 (H30.1.1現在)

担当 下水道局

取組の効果

- ・多くの団体で納税額の削減を実現
- ・財政的にも人力的にも取組が困難とあきらめていた団体が取組をはじめるときっかけづくりに寄与

創意・工夫した点

効果が生まれるメカニズムをイメージしやすいものにして経営が苦しいほど財政的な効果が高いこと、小規模であるほど移行業務に係る業務負担は漸減的に軽くなっていくことを特に意識して訴えた

他団体へのアドバイス

下水道事業の企業会計化は、経営状況が悪いほどよく効く、しかも小規模な団体ほど取組みやすい財政健全化の特効薬です

